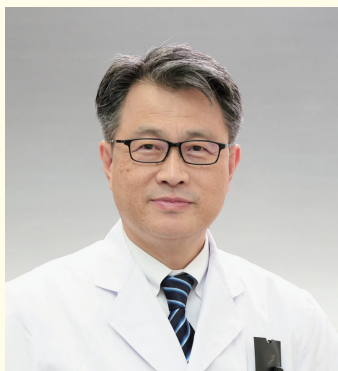


病院長就任挨拶



久留米大学は開学以来、地域に根差した医療を実践し、令和元年12月調べで久留米二次医療圏、福岡県を越えて109の医療施設に、大学病院に勤務する医師数とほぼ同数の588名の常勤医師を派遣しており、担当する地域医療の人口はおおよそ100万人となります。

現在、地域医療構想、医師偏在（地域枠、専門医制度等）、働き方改革の三位一体の医療改革が進行しています。久留米大学病院は、特定機能病院、高度急性期病院として、がん拠点病院、高度救命救急を核とし、分院である久留米大学医療センターとともに高度医療を提供し、関連病院とともに地域医療を担います。これから私たちは、三位一体の医療改革の下、特定機能病院として地域医療を守らなければなりません。

私の久留米医師会の参与も三期目を迎え、多くの医師会の先生方とお話をする機会が増えました。さらに医師会、地域の医療施設との連携を密にして、風通しの良い医療連携を心掛ける所存です。

病院長就任早々より、新型コロナ対応に追われています。大学病院機能が維持できるように職員一丸となって頑張っています。

令和2年4月

久留米大学病院
病院長

志波 直人

病院執行部体制

病 院 長	志波 直人
病院長特別補佐	八木 実
副 院 長	鳥村 拓司
	田中 芳明
	渡邊 浩
	福本 義弘
	高須 修
	赤木 由人
	野村 政壽
	上野 知昭

私たちの理念

人と地球にやさしい、^{いのち}生命を慈しむ医療

私たちのめざす医療

1. 患者中心の医療
生命の尊さにもとづき、患者や家族の権利を尊重し、心のかよう医療を行います。
2. 共生の医療
地球環境にやさしい共生の医療をめざします。
3. 高度で安全なチーム医療
安全性を確保し、高度で専門的なチーム医療の確立をめざします。
4. 地域と共に歩む医療
地域医療機関との連携を密にした、継続性のある医療を行います。
5. 優れた医療人の育成
教育機関として高水準の医療技術と思いやりを備えた医療人の育成に努めます。

TOPICS 1

久留米大学病院におけるがんゲノム遺伝子パネル検査について

久留米大学産婦人科 教授

久留米大学病院腫瘍センター副センター長 がんゲノム担当 牛嶋 公生

がんゲノム医療とは、癌種にかかわらず、個々のがんの遺伝子変異から推奨される薬剤を選択する治療法です。国は第三次がん対策基本計画において、がんゲノム医療の充実を挙げ、がんゲノム医療が行える11カ所のがんゲノム医療中核拠点病院を制定し、そして2019年6月がんゲノム遺伝子パネル検査が保険収載となりました。

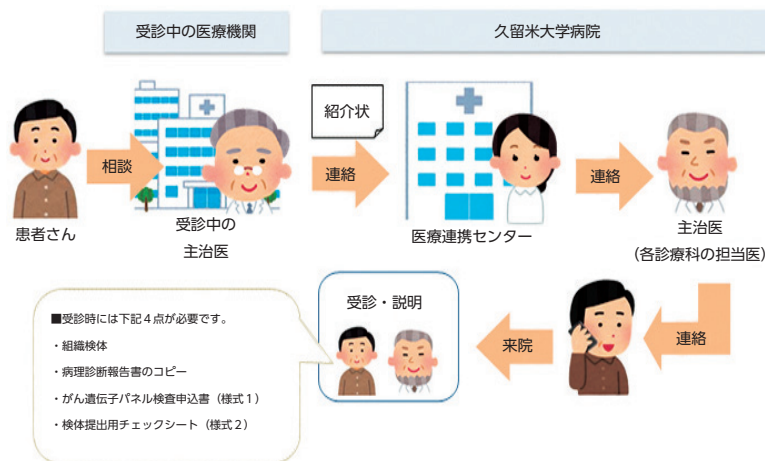
がんゲノム遺伝子パネル検査では、患者さんの過去の病理組織および血液検体から変異のある遺伝子を次世代シーケンサーにて見つけ出し、癌種横断的に遺伝子変異に対して適合する抗がん剤治療を検索するものです。出た結果については各専門家が集まって行うエキスパートパネルという会議により推奨治療や、遺伝性腫瘍のリスクなどについて報告内容を検討します。保険適応となるには種々の条件があり、既に標準治療が終了した固形腫瘍、あるいは希少がんなどが適応となります。検査から結果の報告まで1か月以上を要しますし、検査を行っても推奨治療に結び付かない場合も数多くあります。

久留米大学病院は全国で34カ所、九州で4カ所あるがんゲノム医療拠点病院に指定されました。既に検査を行う事は可能で、検査には各施設からの腫瘍の検体と詳細な臨床情報が必要となります。がんゲノム遺伝子パネル検査に適応となるかどうかは、各診療科のゲノム医療担当医にご相談の上、必要な書類を準備して各診療科にご紹介下さい。詳細は病院HPでご確認いただければと思います。よろしくお願いします。

検査の流れ（当院以外でがん診療の場合）

【当院以外でがん診療を受けられている患者さん及び医療機関の方へ】

※患者さんは現在受診中の主治医にご相談ください。



TOPICS 2

認定基準に適合した食事（スマートミール）の提供へ ～お見舞いの方や地域住民の方へ 健康的な食事と食環境を啓発～



久留米大学病院では、2019年10月に大学病院として全国初となる「スマートミール」の認証を取得しました。「スマートミール」とは病気の予防や健康寿命を延ばすことを目的とした栄養バランスのとれた食事の通称で、日本栄養改善学会や日本高血圧学会などの13学協会で構成される「健康な食事・食環境」コンソーシアムが審査・認証を行います。

スマートミールには、「主食＋主菜＋副菜」か「主食＋副食（主菜、副菜）」を基礎に、一般女性や中高年男性で生活習慣病予防に取り組みたい人向けの「ちゃんと」と一般男性や身体活動量の多い女性で生活習慣病予防に取り組みたい人向けの「しっかり」があります。

今回当院が取得した「ちゃんと」の基準は、1食当たり、エネルギー450～650kcal未満、食塩相当量3.0g未満、野菜等140g以上と定められています。

現在、当院の一般食堂「オアシス」（病院本館3階）では、「ちゃんと」の基準を満たした「鶏からそぼろあんかけ野菜たっぷりセット」をご提供しており、JSH減塩食品（日本高血圧学会が認証）の減塩醤油を使い、お酢や胡麻などで風味を活かした味付けになっています。

お見舞いの方や地域住民の方にとっても健康的な食事となっていますので、当院へお越しの際には、是非ともスマートミールを味わっていただければと存じます。

久留米大学病院

栄養部 山田 泰士

鶏からそぼろあんかけ 野菜たっぷりセット

（御飯、鶏からそぼろあんかけ、きんぴらごぼう、涼拌三絲、果物）

エネルギー	633kcal
たんぱく質	23.9g
脂質	16.8g
飽和脂肪酸	2.76g
炭水化物	95.8g
食塩相当量	2.7g
野菜等重量	203g

～スマートミールの基準【ちゃんと】～

エネルギー：450～650kcal未満
主食：飯、めん類、パン 150～180g（参考）
主菜：魚、肉、卵、大豆製品 60～120g（参考）
副菜：野菜、きのこ、いも、海藻140g以上
食塩相当量：3.0g未満

栄養バランスを考えて「ちゃんと」食べたい一般女性や中高年男性で、生活習慣病の予防に取り組みたい人向け

賢く食べて健康に…

★この食事は、スマートミールの基準（ちゃんと）を満たしています。★

スマートミールだけで、健康になったり、生活習慣病が予防できるわけではありません。健康づくりには、スマートミールのような、栄養バランスのとれた食事を継続的に食べ、積極的に身体を動かす、禁煙、禁酒を心がけるなど、適正な生活習慣が重要です。現在治療を受けておられる方は、主治医にご相談の上、スマートミールをご利用ください。

2020年度 医療連携センター スタッフ紹介

患者さんと医療機関の皆様のお力になれるよう がんばります!!

連携事務担当

- (事務室長1名、事務3名、クラーク5名)
- ◆連携業務に関する情報提供・広報活動
 - ◆紹介・逆紹介データ管理
 - ◆関連医療機関連絡調整
 - ◆入退院患者支援業務
 - ◆患者相談窓口



前列左より
牟田 薫(事務室長)、櫻井麻衣佳(事務)
鹿毛 巖(患者相談窓口)、甲斐田実香(事務)
後列左より
中島理世(クラーク)、内野千鶴(クラーク)
堂本真由(クラーク)、西田千恵美(クラーク)
塚本瑠香(クラーク)

紹介予約センター (事務4名)

- ◆紹介患者の外来診療予約



前列左より
三浦恭子、大塚久美子、松隈美紀、池松友里那

退院支援・医療福祉相談担当

- (看護師7名、MSW6名)
- ◆退院支援 (在宅・転院)
 - ◆社会資源紹介、患者受診・受療援助
 - ◆経済的・心理的・社会的問題等の解決援助
 - ◆院内外からの医療相談



前列左より
深川千寿子(主任看護師)、野中公美子(NS)、
青木正恵(MSW)、池田知子(MSW)
花島りか(MSW)、大森しほ(MSW)
二列目左より
荻口慶子(NS)、吉原真由美(NS)
北原和美(NS)(当日不在)、野村紗知(NS)
田野麻紀子(NS)、今給黎 陽(MSW)、神代 潤(MSW)

入院前支援担当

- (副看護部長1名、看護師長1名、看護師5名)
- ◆病床管理
入退院状況把握・急患受入対応・
ベットコントロール
 - ◆入院前支援業務



前列左より
黒田明子(NS)、吉川侑実(看護師長)
古賀真由美(副看護部長)(当日不在)、中村寿賀子(NS)
後列左より
斎藤恭子(NS)、軸丸千恵(NS)、藤澤さゆり(NS)

【がん相談支援センター】(看護師2名)

- ◆がん相談、セカンドオピニオン外来調整

【認知症医療センター】(PSW1名)

- ◆認知症に関する相談支援



左より
鶴久裕貴(PSW)、副枝恵美(副主任看護師)
廣畑紀世(主任看護師)

今年度も引き続き、
よろしくお願いいたします。

